

監事監査報告書

令和2年4月14日

認定特定非営利活動法人自然再生センター
理事長 熊谷 昌彦 殿

監事 松本 一郎

河野 美江



私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類に閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (4) 引き続き多様な事業の情報収集を行い、SDGsを実践する事業の新規展開の可能性を探ることに取り組むよう求める。
- (5) 基礎的な財務基盤強化のため、会員数の増加および寄附金の増加を図ることに取り組むよう求める。
- (6) 企業などからの受託費についての活動は、地域に対する研究を通じた貢献であり法人としての活動の特色でもあり、また基盤を支える一つであることを認める。その上で、現状では年に数回の報告会などがあるが、活動のたびにその内容について写真などを含めた簡単な報告（例えばSNSなど）を通して地域などに対する報告を行う努力を求める。

以上